



地域ブロック情報

日本社会福祉学会には7つの地域ブロックがあり、それぞれに特徴的な活動が展開されています。

今号では、九州地域ブロックおよび北海道地域ブロックの活動についてご紹介いたします。



九州地域ブロックから

九州地域ブロック担当理事
村山 浩一郎(福岡県立大学)

九州地域ブロックは昨年6月から新しい役員体制となりました。新体制で運営委員会の委員長を務めることとなりました村山と申します。会員の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

九州地域ブロックは、年1回の研究大会の開催と、機関誌『九州社会福祉学』の発行を主な事業として活動を行っています。現在、『九州社会福祉学』の編集は概ね順調に進んでおり、今年度内に発行できる予定です。

今年度の第61回研究大会につきましては、昨年6月に西九州大学(佐賀県)で開催される予定でしたが、残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大のため、やむなく中止となりました。また、通常は研究大会に合わせて開催される地域ブロック総会も書面会議での開催となりました。書面での議決にご協力いただき、ありがとうございました。

来年度の研究大会は、6月に西南学院大学(福岡県)を担当校としてオンラインで開催する予定です。オンライン開催はブロックとしては初めての経験ですが、開催校と運営委員会が連携しながら準備を進めているところです。次回の第62回大会はぜひとも開催に漕ぎつけたいと考えております。なお、来年度の総会については、今年度と同様、書面での開催となりますので、よろしくお願いいたします。

ところで、今年度から、地域ブロック運営委員会等もZoomを使ってオンラインで開催しております。学会本部を通じて九州地域ブロック専用のZoomライセンスを取得し、ブロックの会議・打ち合わせ等に活用しています。また、これまで九州地域ブロックでは会員への情報提供や連絡にメールを使用しておりませんでした。研究大会のオンライン開催を機に、遅ればせながら、会員への連絡方法としてメールも活用していきたいと考えています。

最後に、今後は、地域ブロックとしても大学院生・若手研究者支援に取り組んでいきたいと思っています。九州地域ブロックでは、年1回開催している研究大会が大学院生・若手研究者の研究発表

や交流の場として機能してきたところですが、これ以外の取り組みについても運営委員会として検討していきたいと思います。全国学会の研究支援委員会が組織している「若手研究者ネットワーク」にも、九州から2名の会員の方に参加していただいておりますので、全国の動向と連動しながら進めていければと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

北海道地域ブロックから

北海道地域ブロック担当理事
大友 芳恵(北海道医療大学)

北海道地域ブロックは北海道という広大な地域であり、道内の移動であっても他都府県の皆さんが想像する以上に時間と経費がかかり、道内の会員が一同に会してさまざまな研究会や会員相互の交流を図ることに課題を有している状況にありました。

2020年はコロナ渦にあって、直接対面する機会は減少しましたが、あらたなツール(オンラインの活用等)の活用により、道内・道外の皆さまともリアルタイムでの意見交換や議論ができるようになり、北海道のこれまでの地域課題が多少緩和された思いです。この経験と学びを活かし、2021年度もオンラインを活用した研究会や会議を進められる環境を整え、会員の研究活動の活発化に通じるブロック活動の充実を図っていきたくと考えております。

これまでのブロック活動の充実に取り組む過程において、他の6つの地域ブロックの活動等から多くの示唆をいただいております。例えば、機関誌に関しては、会員の研究成果のアウトプットとしての機関誌『北海道社会福祉研究』があります。これまでは年間の投稿機会が1回に限られておりましたが、他ブロックの仕組みから学びを得て2年前から年間3回の投稿を可能としました。幸いなことに少しずつ投稿論文数も増加し、機関誌編集委員会は忙しく活動することとなりました。研究成果は電子化し学会ホームページ上で公開しており、多くの会員に研究刺激を与える一助となっているものと考えます。

また、これまでも関東地域ブロックをはじめとして、多くのブロックの皆さんに研究会への参加や交流の場をいただくなど大変お世話になっております。

北海道のフロンティアスピリットを基盤として、閉塞感のある社会において「福祉を拓く」ことのできる北海道地域ブロック会員の研究活動の充実のためにも、今後は研究大会や研究会、合評会の開催や若手研究者への研究奨励金の創設など、院生や若手研究者の研究環境へのサポートができるような環境整備や研究活動の活性化につながる工夫を進め、新年度も今まで以上にオンライン等を活用し、道内ブロック会員のみならず多くの会員の皆さまと研究交流が図られることを願っております。

上述しました『北海道社会福祉研究』もぜひご覧ください。

<https://hssw.jp/journal/>